

株式会社 千趣会 (東証1部 : 8165)  
2017年度 決算説明会

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai

2018年2月8日

- 1 2017年度連結業績について
- 2 セグメント別概況について
- 3 2018年度連結業績予想について
- 4 その他

## 1 2017年度連結業績について

## 2017年度連結決算損益 (対前年度比)

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai

(単位：百万円)

	2016年度		2017年度		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	129,074		125,999		△3,075	
売上原価	67,087	52.0%	71,437	56.7%	4,350	4.7%
売上総利益	61,986	48.0%	54,561	43.3%	△7,425	△4.7%
販管費	60,791	47.1%	58,848	46.7%	△1,943	△0.4%
営業利益	1,194	0.9%	△4,287	△3.4%	△5,481	△4.3%
経常利益	1,673	1.3%	△4,206	△3.3%	△5,879	△4.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,420	1.1%	△11,090	△8.8%	△12,510	△9.9%

◆ 売上高：ブライダル事業・法人事業・その他において増収だったが、通信販売事業の減収による売上高減(△2.4%)

◆ 営業利益：売上高減少及び原価率悪化により、営業損失が発生

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

4

本日はお忙しい中ご出席賜りまことにありがとうございます。

早速2017年度の業績につきましてご報告申し上げます。

売上高ですが、1,259億99百万円ということで対前年30億75百万円のマイナスの減収となりました。

原価率ですが56.7%ということで今年は通販事業の方で在庫のロス、評価替等が多く発生しております。後ほど詳しくご説明申し上げます。

売上総利益ですが結果対前年で74億25百万円で減っている状況でございます。

販管費につきましては対前年19億4,300万円を削減し、結果営業利益としましては42億87百万円の損失ということで非常に申し訳ない結果となりました。

また経常利益としては42億6百万円の損失、当期純利益ですけれども110億9,000万の損失、これにつきましては通販事業において連続して赤字を続けているということで通販事業に関わる固定資産の減損を今期行いました。それが55億円となっております。

## 12月15日の業績修正要因について(対修正予算差異説明)

- 要因 1** ・通販事業、特にベルメゾン事業における売上の対計画比マイナス  
→ 売上対策実施するも効果低い
- 要因 2** ・在庫管理方針の明確化による評価損等の増加  
→ 在庫判定の見直し等による増加
- 要因 3** ・希望退職者の増加による特別退職金等の事業構造改革費用の増加  
→ 50名予定 ⇒ 134名

元資料と並びを変えています

**参考** ・減損損失（下表明細）

(単位：百万円)

会社名	拠点	総計
千趣会	● 大阪本社ビル等事務所	1,400
	● 物流センター	1,681
	● ソフトウェア等無形固定資産	1,401
	● その他	270
子会社	各子会社	718
総計		5,473

その内訳が下半分のところにございます。(こちらは後で説明予定の資料です。ここでは減損損失の明細のみ使用しています)

本社ビルはほとんど通販事業の社員が使っておりますのでビル、物流センター、無形固定資産ですけれども情報システムのソフトウェア、等々合計で54億7,300万円の減損となっております。

## 2017年度連結貸借対照表 (対前年度比)

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai

(単位：百万円)

	2016年度末	2017年度末	増減額
<b>資産の部</b>			
● 流動資産	52,618	48,854	△3,763
● 固定資産	49,341	41,586	△7,755
資産合計	101,959	90,441	△11,518
<b>負債の部</b>			
● 流動負債	29,298	30,066	767
● 固定負債	20,088	18,826	△1,262
負債合計	49,387	48,892	△494
<b>純資産の部</b>			
● 株主資本	58,399	41,155	△17,243
● その他の包括利益累計額	△5,890	318	6,209
● 非支配株主持分	64	74	10
純資産合計	52,572	41,548	△11,024
負債・純資産合計	101,959	90,441	△11,518

❖ 減損損失の計上等により、有形固定資産4,535百万円、無形固定資産1,439百万円減少

❖ 親会社株主に帰属する当期純損失11,090百万円の計上により、利益剰余金が減少

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

6

次にBSの状況でございます。まず流動資産につきましては前期比37億円の減少となっております。これは昨年の在庫削減と期末に評価替等にて追加で削減を行っております。

固定資産につきましては先ほど申し上げました減損の影響で大きく減っているというところでございます。

この大きな損失によりまして、負債・純資産でこのような形で約115億円減少となっております。

## 2017年度連結キャッシュ・フロー計算書 (対前年度比)

ウーマン スマイル オンライン  
senshukai

(単位：百万円)

	2016年度	2017年度	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,825	1,952	△1,873	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 税金等調整前当期純損失 (△10,899)</li> <li>■ 減損損失 (+5,473)</li> <li>■ 減価償却費 (+2,196)</li> <li>■ たな卸資産の減少額 (+4,454)</li> </ul>
投資活動によるキャッシュ・フロー	94	△397	△491	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有形固定資産の取得による支出 (△1,165)</li> <li>■ 子会社株式の取得による支出 (△835)</li> <li>■ 投資有価証券の売却による収入 (+1,754)</li> </ul>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,580	△1,148	431	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期借入れによる収入 (+2,800)</li> <li>■ 長期借入金の返済による支出 (△1,656)</li> <li>■ 新株予約権付社債の償還による支出 (△2,000)</li> </ul>
現金及び現金同等物の期末残高	16,600	17,323	723	

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

7

キャッシュフローは、営業活動によるキャッシュフローにつきましては損失があったものの在庫を削減したことも影響して19億5,200万円でございます。

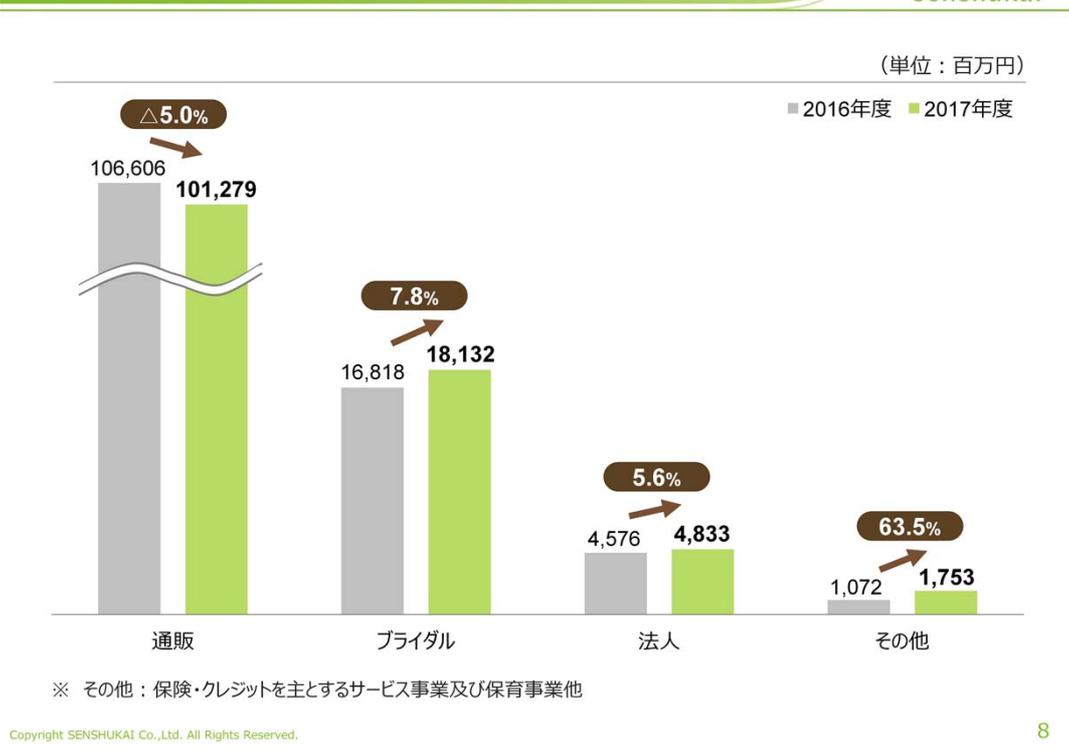
投資活動によるキャッシュフローは有形固定資産の取得等ございましたが、投資有価証券の売却をすすめましたので結果マイナスの3億9,700万円という結果でございます。

財務活動によるキャッシュフローは長期借り入れの借入れと返済がありました。

それ以外にCB(2019年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債)の早期償還が約20億円ありました。ということで期末の現金につきましては173億円となっております。

## 2017年度連結セグメント別売上高 (対前年度比)

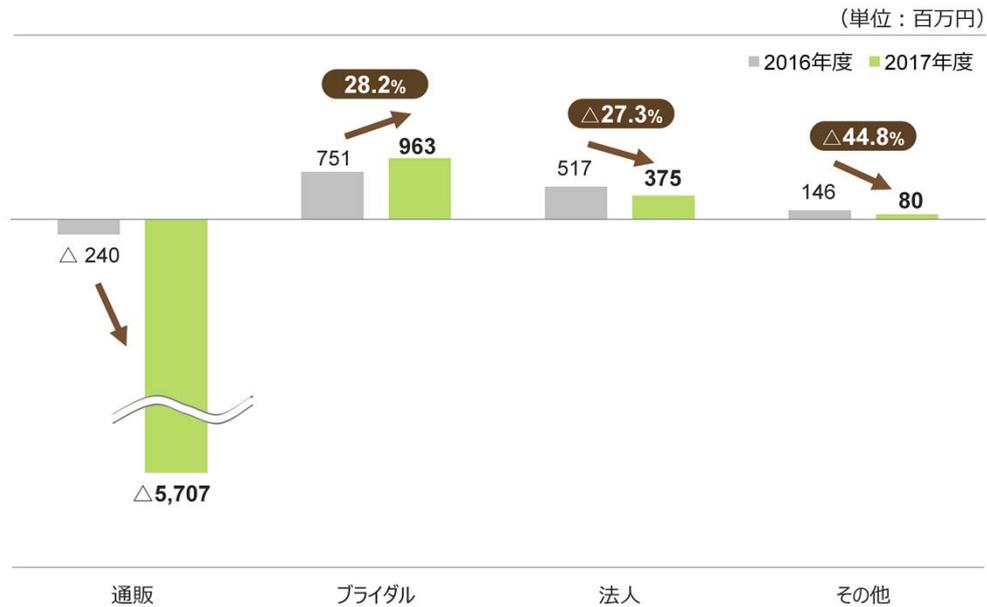
ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai



売上高の連結ベースのセグメント別の売上高です。通販事業が約5%の減収となっております。それ以外につきましては増収となっております。

## 2017年度連結セグメント別営業利益 (対前年度比)

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai



※ その他：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業他

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

9

セグメント別の営業利益でございますが通販が大きく57億円の損失ということで大きく損失をだしております。

ブライダルについては堅調に推移しております。

法人事業につきましては若干の減益、その他につきましては保険、クレジット、保育事業がこちらに含まれております。

## 2 セグメント別概況について

## 通販事業の概況 (対前年度比)

ウーマン スマイル オンライン  
senshukai

	2016年度	2017年度	増減	要因
売上高 (百万円)	106,606	101,279	△5,327	
営業利益 (百万円)	△240	△5,707	△5,467	
年間購入者数 (万人)	337.9	323.7	△14.2	
新規購入者数 (万人)	74.5	75.2	0.7	
1件当たり受注単価 (円)	10,575	9,718	△857	■ 1点当たり単価の低下による
1人当たり注文回数 (回)	2.75	2.74	△0.01	■ 頻度の高い既存会員の減少による
カタログ部数 (万部)	7,580	4,740	△2,840	■ 休刊や統合に伴うカタログ種類の減少による
ネット受注件数比率	80.2%	83.5%	3.3%	
スマートフォン売上シェア ～ネット売上の内	47.6%	54.7%	7.1%	

※ 年間購入者数以下の数値は通販事業の中の単体(頒布会事業を除いた)数値

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

11

それでは各セグメント別の概況についてご説明申し上げます。

まず通販事業でございますけれども売上は1,012億ということで53億の減収でございます。営業利益につきましてはご覧の通りでございます。

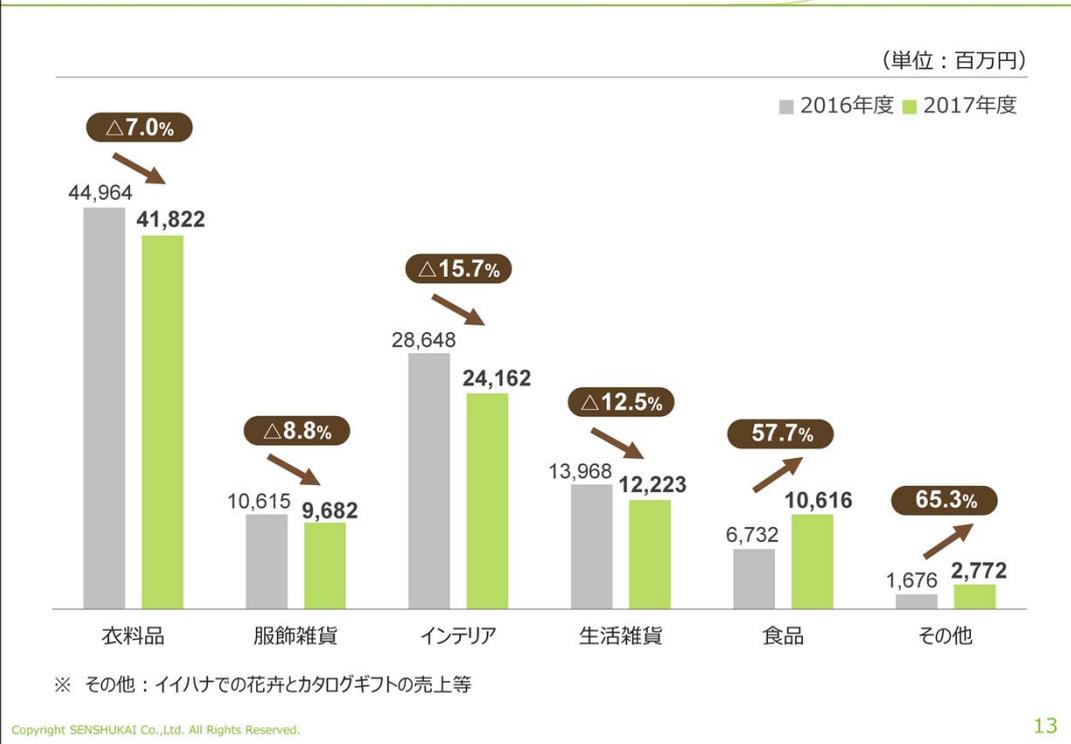
年間の購入者数、アクティブ会員が14万人減りまして323万人、新規顧客は75万人です。一件あたりの受注単価が857円減っている。一人のお客様の年間の注文回数はほぼ前年並みです。カタログの部数は昨年特に後半、下期に部数を削減しまして4,740万部ということで前年に対して2,840万部減らしております。ネットの受注件数比率は83.5%、その中のスマートフォン受注割合が54.7%ということで7.1%増えていますので受注の約半分がスマホ経由で来ているという計算になります。



通販事業の受注の月別の売り上げの推移になります。8月にギリギリ100%に届いたこと、12月は非常に冬の商材が売れました。

主力商品の1つであるホットコットと言う防寒下着ですが、去年は90万枚売れたんですけども今年は130万枚用意してほぼ売り切れてしまった。

それからとろけるシリーズと言う毛布などの商品もこちらも今も品切れになっておりますが非常によく売れました。それからおせち等も子会社でよく売れました。



それからジャンル別では全てのジャンルで落ちているということがございます。

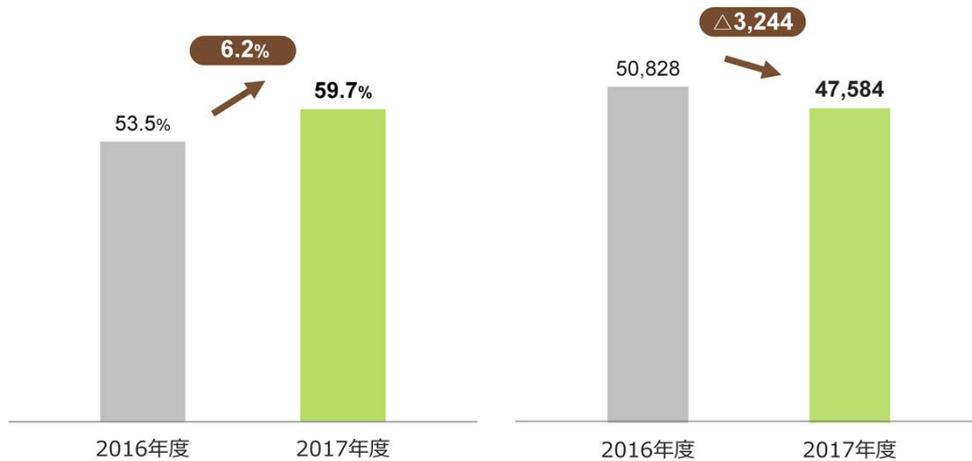
今後としては衣料品につきましては一般的に言われているアウターにつきましてはこれは絞り込んでいくということと考えております。

インテリアにつきましては今後主力で頑張っていきたいと思っておりますがインテリアは16年は3媒体ございました。すむとこ、インテリアライフスタイルブック、デイズの3媒体でやっておりました。これを効率化しようとして1誌にしております関係で部数が半減した関係で(減っています)。

売上原価率

販管費

(単位：百万円)



- ◆ バーゲン・処分売りシェア増
- ◆ 商品評価損・償却増

- ◆ 印刷費・制作費・カタログ送料  
：カタログ部数削減による各費用減
- ◆ 減価償却費：減損損失等による減
- ◆ コスト見直しによる各費用削減

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

14

次に売上原価率ですがバーゲン処分売り、評価損、償却に関しては金額で言うと16年対比で22億円増えたという形でございます。

それから販管費につきましては主にカタログの費用を削減しております。それから第2四半期終わった時点で減損をしておりますので減価償却費も一部減っている状況です。

。

## ブライダル事業の概況 (対前年度比)

	2016年度	2017年度	増減	要因
売上高(百万円)	16,818	18,132	1,314	
● 新店	—	20	20	■ KOTOWA 京都 中村楼 新規オープン (9月)
● 既存店	16,818	18,112	1,294	
営業利益(百万円)	751	963	212	
ゲストハウス数(店舗)	23	24	1	
施行件数(組)	4,362	4,635	273	
平均組単価(万円)	364.8	368.7	3.9	

次にブライダル事業です。ブライダル事業は堅調に推移しております。

新店につきましては一店だけです。京都の中村楼という、新店を建てたというより他店の建物を譲り受け、内装だけやり変えた非常に小規模な出店ではございますが、一店ございました。

主に既存店の売り上げが堅調に推移し利益も上乘せできている状況です。組数に関しても前年比273組増えて4,635組となり、組単価も前年を上回っている状況でございます。

## 法人事業の概況 (対前年度比)

ウーマン スマイル オンライン  
senshukai

(単位：百万円)

	2016年度	2017年度	増減額	要因
売上高	4,576	4,833	257	
● 業務受託	3,354	3,518	164	■ 物流・コールセンター業務受託増及び物販受託(株主優待事務局等)増
● サンプルング	994	1,038	44	
● ノベルティ	195	259	64	■ 既存クライアント成約増及びスポット案件成約増
● その他	33	17	△16	
営業利益	517	375	△142	■ 業務受託・ノベルティにおける利益率悪化

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

16

法人事業ですけれども、増収ではございましたが利益は減ったということでいうと業務受託のところが増上を増やしましたがここが収益性が低下し、収益性の高いサンプルングが伸ばせられなかったということで利益率が悪化したということでございます。

- 要因1** ・通販事業、特にベルメゾン事業における売上の対計画比マイナス  
→ 売上対策実施するも効果低い
- 要因2** ・在庫管理方針の明確化による評価損等の増加  
→ 在庫判定の見直し等による増加
- 要因3** ・希望退職者の増加による特別退職金等の事業構造改革費用の増加  
→ 50名予定 ⇒ 134名

**参考** ・減損損失（下表明細）

（単位：百万円）

会社名	拠点	総計
千趣会	● 大阪本社ビル等事務所	1,400
	● 物流センター	1,681
	● ソフトウェア等無形固定資産	1,401
	● その他	270
子会社	各子会社	718
総計		5,473

こちらは12月15日に業績修正の発表をさせていただいたときの説明を、いまさらではございますが記載しております。減損は先ほど説明しましたが、この時の業績修正の内容としましては、通販事業が若干悲観的な見方をしていた。この時に比べると12月は売上を回復したのですが、この時はそうみていました。また在庫について、評価損が発生することを見通した、ということと一番この時期にお伝えしたかった内容としましては希望退職者が50名予定に134名応募がありまして、この134名については2月末に退職をする予定でございます。

以上が2017年度の業績の説明でございます。

### 3 2018年度連結業績予想について

## 2018年度通期連結業績予想 (対前年度比)

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai

(単位：百万円)

	2017年度実績		2018年度予想		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	125,999		124,000		△1,999	
売上原価	71,437	56.7%	67,091	54.1%	△4,346	△2.6%
売上総利益	54,561	43.3%	56,908	45.9%	2,347	2.6%
販管費	58,848	46.7%	55,308	44.6%	△3,540	△2.1%
営業利益	△4,287	△3.4%	1,600	1.3%	5,887	4.7%
経常利益	△4,206	△3.3%	1,900	1.5%	6,106	4.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△11,090	△8.8%	1,400	1.1%	12,490	9.9%

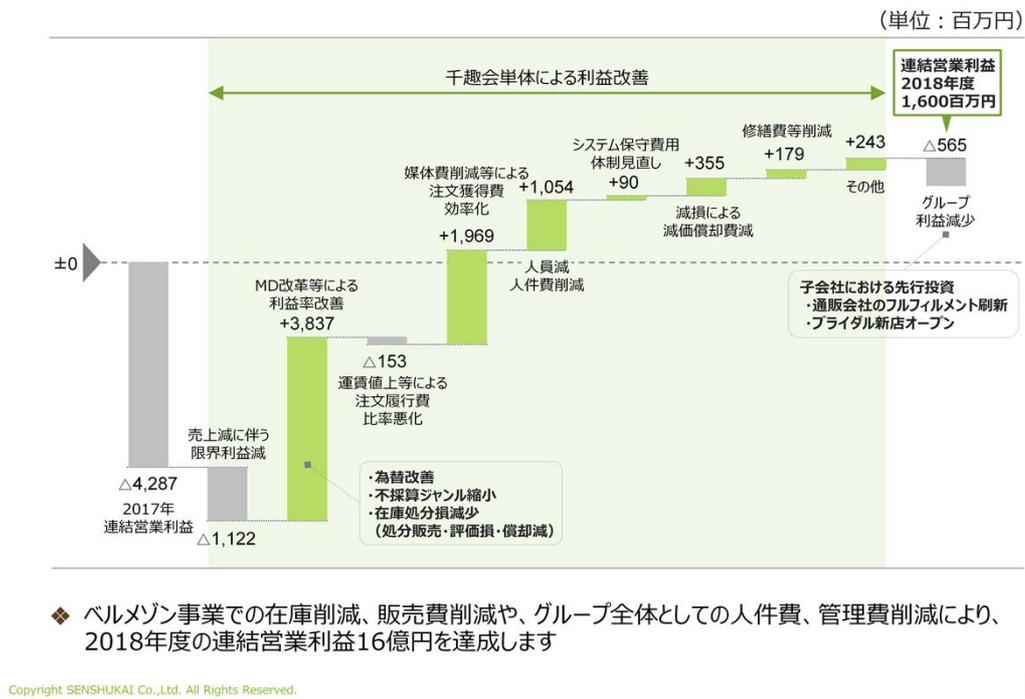
Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

19

次に2018年度の業績予想についてでございます。まず全体像を見ていただこうと思っております。2018年は売上高が1240億円、約20億円減収の見通しでございます。売上原価につきましては前年非常に評価損が発生しましたのでそれがなくなるということで54.1%を見通しております。販管費につきましても35億の削減を行い、結果営業利益は16億円、経常利益が19億円、当期純利益14億円という見通しでございます。

## 2018年度通期連結業績予想（詳細）説明

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai



20

こちらの詳細をご説明申し上げます。まず売上につきましては、売上減に伴う限界利益減、こちらが11億2,200万でございます。

こちらがMD改革等による利益率改善の内訳がこちらに書いてございます。

一番大きいのが在庫処分損16年・17年対比で22億増えたということでこれは17年の特殊な要因と言うことです。

ここは20億以上の改善を見込んでいる。処分販売についても処分販売を削減していこうということでございます。

残りの部分につきましては為替ですね。17年は1ドル118円という非常に不利なレートでしたが、今年度につきましては109円、

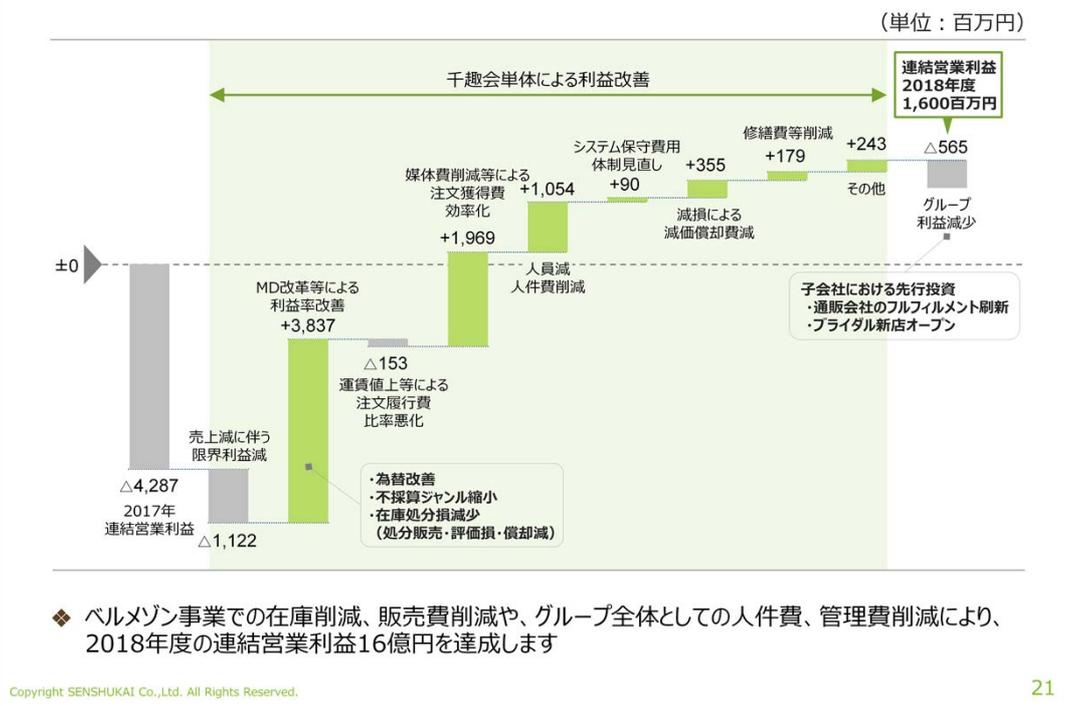
2年前に予約しておりましたが、現状の為替のレートに近い数字でございます。

ここで7億円から8億円の仕入れ価格の改善を見込んでいるという事でございます。

それから不採算ジャンルにつきましては思い切ってやめていくということで利益率の改善をはかり、トータルで38億円の改善を見込んでおります。

運賃ですけれども弊社のほぼ主力は佐川急便さんをお願いしておりますがこちらは交渉で1億5千万円運賃による値上がりがある。次に媒体費ですけれども約20億削減します。主にカタログを部数はあまり減らさずにページを減らして訪問頻度はキープしようということですが、印刷費・送料等効率化していくことで20億の削減を予定しております。

# 2018年度通期連結業績予想(詳細)説明



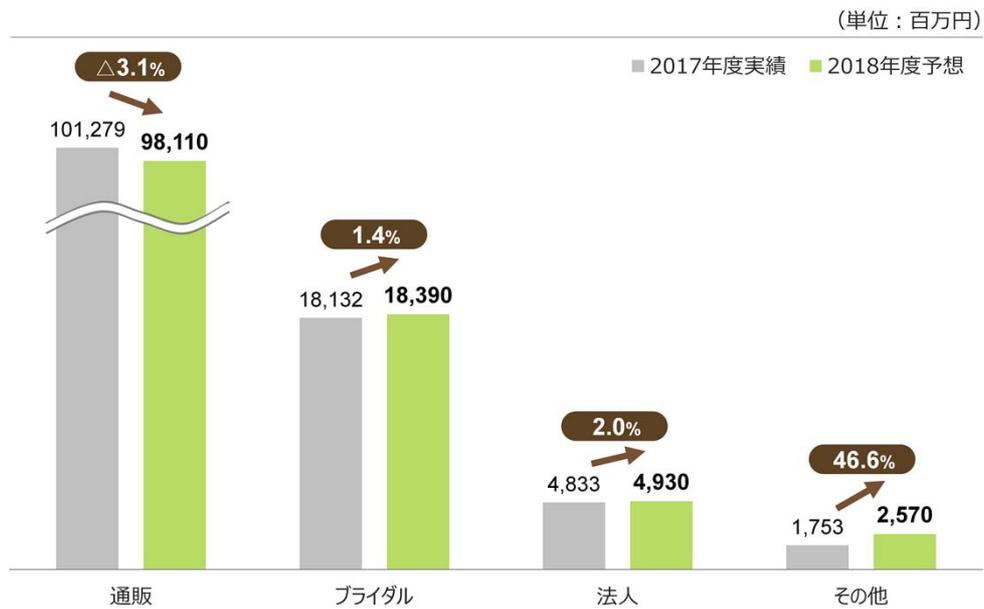
人件費につきましては先ほど134人退職と申し上げましたが10億円の削減、この中には役員の給与等も含まれます。

それからシステム保守費用の見直しが9千万、減損による減価償却費減、こちらが3億55百万円、修繕費用等が約1億80百万円、その他で2億43百万円、がここまで単体の利益改善でございます。

グループの利益としましては、ブライダルの方で19年の初めに式場を一つオープンしようということで先行費用が発生したり、フィールライフというシニア向けの通販の子会社のシステムのリプレイス(入替え)があります。その費用が先行するなど、いくつか先行投資の要因がございまして子会社全体としては5億65百万円の対前年のマイナスというところでございます。

## 2018年度セグメント別売上高予想 (対前年度比)

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai



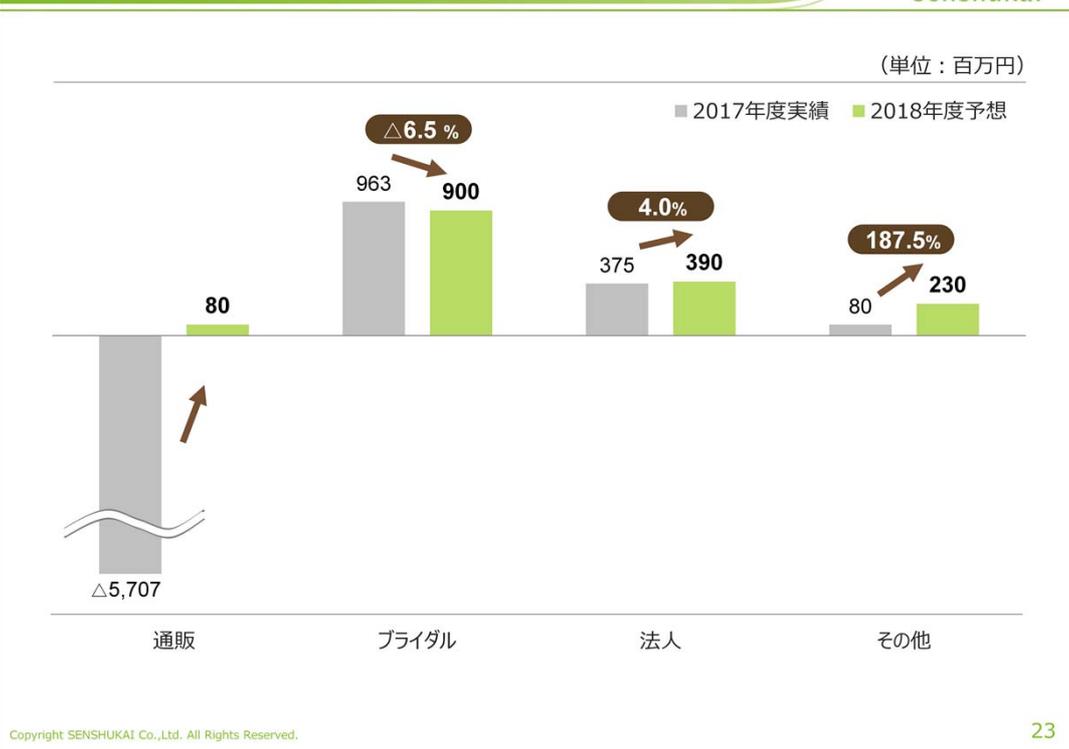
Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

22

セグメント別の売上では通販事業が3.1%の減収、ブライダル、法人、その他は増収という計画でございます。

## 2018年度セグメント別利益予想 (対前年度比)

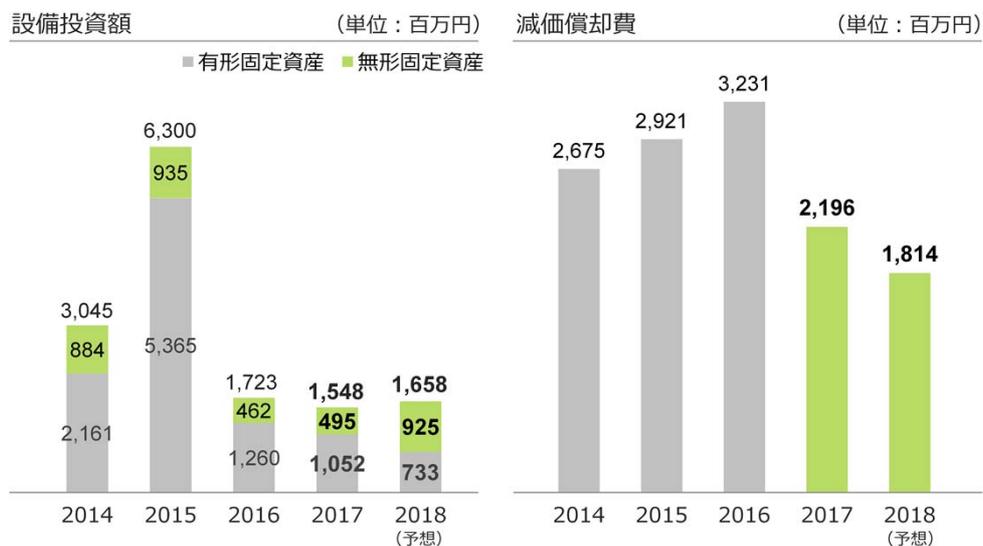
ウーマン スマイル オンライン  
senshukai



セグメント別の利益につきましては、通販はギリギリ黒字に持っていきたい、ブライダルは先ほど申しあげましたような先行投資がございますので若干減益でございます。法人その他は増益でございます。

## 設備投資額・減価償却費推移と計画

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai



- ◆ 有形固定資産：2017年はコールセンターネットワーク構築、2018年度は可児DC機械装置更新やえがおの森保育園どうしん関連
- ◆ 無形固定資産：2018年度はフィールライフ基幹システム構築

Copyright SENSHUKAI Co.,Ltd. All Rights Reserved.

24

設備投資でございますが、18年は子会社フィールライフ、シニア向け通販のシステムなどを予定しているということでございます。

以上18年の業績予想についてご説明申し上げます。

## 4 その他

---

### 大手家電販売店エディオンとの協業について ～エディオン鳥屋家電（広島）にてベルメゾン商品のテスト販売をスタート！

EDION

ライフスタイルカテゴリーの売上拡大と新規顧客の創造のため、家電量販店で6年連続リフォーム売上No.1のエディオンと協業することいたしました。

エディオンの中でも新しいライフスタイルの提案を行うエディオン鳥屋家電（広島）にて、「新生活関連商品」をテーマに2017年12月26日から2018年4月初めまでテスト販売を行います。



### クロスメディア販促について ～ホットコット・とろけるシリーズの動画による販促が好評！

メディア掲載数（紙及びネット関連ニュース等）の増加により、商品やベルメゾンの認知度が高まり、販売増につながりました。

特にとろけるシリーズの猫を使った動画は、再生回数が3.5万回を超えるなど好評を博しました。



今日たまたま日経の関西版に記事掲載されていましたが、エディオンさんと協業いたしまして、まず広島の鳥屋家電さんで弊社のライフスタイル商材を販売していただくという事がございます。エディオンさんのたくさんのお店の中でこういったものをどうやって扱っていくかということにしては、只今両社で協議中でございます。我々としてはできるだけ通販以外の販路を広げていきたいと考えております。

それから先ほど冬商材の中で好調だと申し上げておりましたホットコット、とろけるシリーズにつきましてはテレビCMではないクロスメディア的な販促に今年度力をいれました。



**お客様からの寄付「えがおの森基金」が累計1億4千万円を突破**

「お客様と一緒に。みんなを笑顔に」をスローガンに2013年度より開始した社会貢献活動のための「えがおの森基金」はお客様の支持を得て累計1億4千万円を突破。  
(145,061,419円、2017年12月31日現在)東北支援、ピンクリボン活動、環境活動の3つのテーマでウーマン スマイル カンパニー千趣会として、各プロジェクトを展開しました。

**東北支援－「おくるみプレゼント」を終了。4年間で約3万枚を東北の新しい命に**

「東北のお母さんと子どもたちを笑顔に」する震災復興活動として、2013年より東北4県(青森・岩手・宮城・福島)の新しい命に「オリジナルおくるみ」をプレゼントしてきました。  
産院や子育て支援団体を通じ、4年間で計33,591枚を配布しました。



**ピンクリボン活動－乳がん経験者支援活動を活発化**

これまでの乳がん検診促進活動に加え、2015年からは乳がん経験者の支援活動を開始。昨年は経験者のお話を聞く機会を設け、使い勝手を高めた「ケア帽子」を企画・発売しました。



**環境活動－グリーンパワー教室、親子で考える特別授業も大阪・東京で開催**

未来を担う子供達に“グリーンパワー(再生可能エネルギー)”について考えてもらう機会を作り、社会全体でエネルギー問題や環境問題を変えていきたいという思いから、小学校での出前授業を実施しています。昨年は12月に岡山で実施。また、親子参加のイベント形式の新カリキュラムを春休み(3月)に大阪、夏休み(8月)に東京で開催しました。



それから社会貢献活動につきましては引き続きご覧のような活動を行っております。

## 配当予想

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び業績に応じた適正な利益還元を基本としております。

2017年12月期の配当につきましては、連結・単体共に純損失を計上する状況であることを勘案し、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

2018年度におきましては、今期からの中期経営計画の推進と、経営の安定性・安全性の観点より自己資本の拡充が最優先課題であり、また季節変動の要因が大きいため、中間配当は無配、期末配当は未定とさせていただきます。

## 決算発表日程

- |              |            |
|--------------|------------|
| ● 第1四半期決算発表  | 4月27日 (金)  |
| ● 第2四半期決算発表  | 7月26日 (木)  |
| ● 決算説明会 (東京) | 7月27日 (金)  |
| ● 第3四半期決算発表  | 10月26日 (金) |

当決算発表会資料記載内容のうち、将来予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

配当につきましては、12月期末の配当につきましては無配とさせていただきます。

18年につきましては業績がまだ不透明だということで中間配当につきましては無配とさせていただきます。、期末につきましては現時点では未定とさせていただきます。

決算発表の日程についてはごらんのとおりになっています。

以上、私からの説明は終わらせていただきます。